



ほけんだより 9月号



令和5年9月
清和福祉会

夏が過ぎ、一回り大きく、たくましくなった子どもたち。まだまだ続く暑さの中で、夏の疲れが出てくる頃です。しっかりと睡眠をとってください。9月9日は「救急の日」です。この機会に身近な危険について考えたり救急用品の中身を見直しておきましょう。

子どもがけがをしそうで「ヒヤッとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事であった」とすませるのではなく、なぜヒヤッとしたのかを見直しましょう。

子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

1 「ダメ!」「危ない!」は“そこが危険”のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



2 一度あれば二度、二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。



3 大人もいっしょにやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。

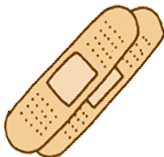


救急箱の中身、チェックしてますか？

CHECK!

絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。



体温計



ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



8月にきりしま保育園・こうたり保育園で発生した感染症

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・インフルエンザ
- ・アデノウイルス
- ・手足口病